



グローバルPBL体験談

実施年度	2020年度
プログラム連番	185
実施形態	オンライン
担当教員	電子情報システム学科 中井 豊先生 機械制御システム学科 武藤 正義先生 環境システム学科 市川 学先生
実施期間	2021年3月15日～3月26日
実施協定校	バンドン工科大学(インドネシア)

参加学生体験談（要旨）

電子情報
システム学科

3年

オンライン形式での開催ということで、最初は不安を抱えながら申し込みましたが、実際に参加してみると、画面共有やチャット等のオンラインならではのツールを駆使して、うまくプログラムを進めることが出来ました。相手の方にも分かり易く説明することが出来たと感じます。

しかしツールに頼り過ぎずに、出来る限り自力でコミュニケーションをとることがとても大切だとも感じました。

機械制御
システム学科

3年

私が参加した理由は、就職活動の際に自らの国際性をアピールするためです。

プログラムでは、現地のスタートアップ企業の経営方針を提案するにあたって、マインドマップと企業へのインタビューの結果からSWOT分析を行い、強みと脅威を明確にして適した経営方針を考えました。また、システム工学で学んだAHP(Analytic Hierarchy Process：階層分析法)という評価手法を用いて提案の妥当性を検証しました。

オンラインで行われていたため、チャットでコミュニケーションを取りました。感情が分からない欠点がありますが、翻訳ソフトも使えるので苦になりませんでした。

インドネシアを味わうことは出来ませんでした。バンドン工科大学の学生と協力して良い提案を完成することができました。

電子情報
システム学科

3年

私はTOEICの点数がとても低かったのですが、バンドン工科大学の先生も学生のみなさんも、私が英語力に配慮してくれ、聞き取りやすいように話してくれたり、テキストを使ってくれたりして、困る事なく参加する事が出来ました。

迷っているなら、とりあえず参加してみるのも正解かもしれません。

参加学生体験談（要旨）

システム理工学 専攻	1年	自分の今までの人生の中では想像し得ない、世界のリアルな声を聞くことが出来ました。私たちはインドネシアの農業地域における教育の改革案を模索しましたが、日本との大きな違いに大変なカルチャーショックを受けました。まさに世界が広がるような体験ができると思います。
環境システム 学科	4年	今までの英語学習は基本的にテストや資格のためにやってきた、という人が多いと思いますが、海外の人と交流することで、実際の自分の英語スキルがどの程度なのかを把握することができるため、一度はこのようなワークショップ形式のプログラムを受けてみてほしいと思いました。 また、日本とは違う価値観に触れられるため、自分の知見を広げる意味でも良かったと感じます。
環境システム 学科	4年	私は英語を話すことに苦手意識があり、参加する前はとても緊張していました。しかしオンラインということもあり、分からない時はチャットを使ったり単語を調べたりすることができる等、オンラインならではの良さを感じながら、プログラムを終えることができました。 バンドン工科大学の方とコミュニケーションを取りながら、インドネシアの問題解決に取り組めたことに、達成感と楽しさを感じました。
数理科学科	3年	英語を話せるようになりたいと考える学生は、是非とも参加した方が良かったと思います。短期間で英語に触れる時間が濃いのはもちろんですが、なによりも、海外の方と英語でコミュニケーションを取ることを怖がらないようになるというのが一番大きな成果だと思います。

参加学生体験談（要旨）

<p>電子情報 システム学科</p>	<p>3年</p>	<p>所属している研究室として参加することが望ましいということで参加しました。今回はオンラインでの実施だった為、会話が上手く出来ない時でも、テキストでコミュニケーションを取れたので対面での会話よりやり易かったです。</p> <p>プログラムを通じ、インドネシアの様々な新興企業について知る事が出来ました。グループ毎に特定の企業の戦略について考えるのですが、期間が短いので完成度の高い案は難しいと感じましたが、英語を実践的に使うよい機会となりました。</p>
------------------------	-----------	--